

第4回 学校運営協議会



- ・「ひらかれた学校」づくりのために、地域と学校、保護者、生徒が関わり合うことのできる機会を増やしていく取り組みを行う。
- ・現場のニーズを把握し、実現可能な教育支援が実施できるように調整し、不可能だと思われるものの形や方法を変え、できる範囲で実現できるよう熟議を重ねていく。

令和7年2月6日(木) 13時30分～15時30分 可美中学校 北館3F CSルーム

- 1 会長あいさつ
- 2 校長あいさつ
- 3 議長の選出
- 4 活動報告
 - (1) 前回会議録の確認 (池野・資料1)
 - (2) 受験前面接指導について(杉本・資料2)
 - (3) 令和6年度 やらまいか講演会について(池野・資料3)
- 5 熟議
 - (1) 学校関係者評価について 可美中学校いじめ防止基本方針について(評価) (谷野・資料4)
 - (2) 来年度の学校運営の基本方針について(案) (小畑・資料5)
 - (3) 学校運営協議会自己評価について (小野田・資料6)
- 6 報告
 - (1) 夢育やらまいかCS加算分の報告 (池野・資料7)
 - (2) 授業支援ボランティアについて(中川)
- 7 連絡
 - (1) 令和7年度 第1回学校運営協議会について (中川)
令和7年5月8日(木)13:30～15:30 予定
 - (2) 令和6年第3回CSコーディネーター研修報告(川原、岡本・資料8)
- 8 アンケート記入



令和6年度 第3回 可美中学校運営協議会 会議録

- 1 開催日時 令和6年12月10日(火)13時30分から15時50分まで
- 2 場 所 可美中学校 2F 会議室
- 3 出席委員 小野田和弘 牧野源太郎 岡本眞理 川原真美 中村精志 中村淳子
(敬称略) 山下美和
- 4 欠席委員 小野田康弘 見野大輔 下田浩伸
- 5 学 校 小畑多佳子(校長) 池野弘昭(教頭) 谷野大樹(教務) 中川将大(CS主任)
杉本直樹(CS担当) 與五沢智宏(3年主任) 後藤高美(CSディレクター)
- 6 教育委員会 牧野知子(教育総務課)
- 7 オブザーバー 土屋明久(可美協働センター長)
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 後藤高美
- 10 授業参観 学習発表会作品鑑賞 13:30~13:50
- 11 会長挨拶 来年度に関わることもあるが、色々な意見を出してほしい。子供たちの活動を見て、落ち着いて活動できていると感じた。
- 12 校長挨拶 2学期は文化発表会・体育大会の2大行事で生徒たちは精一杯の活躍を見せた。2年生は、「エンジン」に取り組み、企業の方から学校とは違う視点で助言いただいた。地域の方には入試に向けて、面接指導でお力を貸していただきたい。
 - (1) 文化発表会 (中川教諭) 映像にて説明
クラス合唱と3年生の学年合唱を行った。学年合唱は、迫力があり歌っている姿に感動した。
 - (2) 体育大会 (中川教諭) 映像にて説明
1年生が3クラスということもあり、競技を変更し新しいことに挑戦した体育大会になった。
 - (3) シツクリプロジェクト「エンジン」(中川教諭) 映像にて説明
12月5日に企業が訪問してグループ発表を行い、6グループが代表に選出された。
1月18日に行われる静岡大会へ出場、全国大会を目指す。
- 13 議長の選出
- 14 会議記録
司会の中川教諭から、委員総数10人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。
- 15 2学期の活動報告
 - (1) 前回会議録の確認(池野教頭・資料1)。
 - (2) 職場体験活動報告(杉本教諭・映像にて説明)
夏休みに具体的に働くということや職業を調べ、10月にはキャリア授業で仕事についての話を聞き、11月28日・29日に職場体験を実施。充実感や大変さを実感できた。岡本委員、川原委員の協力のもと、企業との連絡もスムーズに行えた。
 - (3) 家庭科学習支援活動報告(中川教諭・資料2)

資料1-1

民生委員と更生保護女性会南支部の協力で、10月3日から11月26日まで支援をいただいた。生徒へ支援についてのアンケートを実施。

岡本委員 戸惑いもあったが楽しく活動できた。穏やかに明るく生徒に接するとともに、苦手な子や遅れている子にターゲットをおいて活動をしてきていた。若い人たちに、例えばPTAにも参加してほしい。

小野田会長 PTA活動と地域とでは考え方が違うので、PTAに求めすぎてはいけないと思う。負担を減らす対策も考えていかないといけない。

(4) 受験前面接指導について (依頼事項)(池野教頭・資料3)

16 熟議

(1)【全体】

ア 今後の部活動の地域移行について(小畑校長)

小畑校長 地域移行の目的として、教員の働き方改革や少子化などがある。子供たちはどう思っているのかアンケートを実施。

小野田会長 自治会で知らない人がほとんど、中学校の部活動や地域移行について情報提供がほしい。小学校との連携の必要。形が決まらないと動けない。

牧野委員 学校が土日に部活動を行う目的や理由を明確にする方が良い。

山下委員 親の意見として部活動はやってほしい。送迎なしで運動が出来るのでありがたい。

イ 令和7年度やらまいか講演会 派遣講師について(池野教頭・資料4)

ウ 可美中学校いじめ対策基本方針・いじめ対策について(小畑校長・別紙)

17 報告

(1) 学校運営協議会自己評価の実施と結果等の報告について(中川教諭・資料5)

(2) 学校の取組に対する評価について・県学力調査結果 (谷野教諭・別紙資料6)

(3) 令和7度 学校運営協議会委員 意向調査について (小畑校長)

(4) 第4回運営協議会について 2月6日(木) (中川教諭)

来年度の学校運営の基本方針と教育課程について

(5) 学校支援コーディネーターより 研修報告 (岡本委員・川原委員・資料7)

18 オブザーバーから

土屋センター長 3月10日13時20分から可美中学校にて交通安全教室を開催する。プロのスタントマンによる事故の現場を再現する。是非、来ていただきたい。

教育総務課 牧野知子さん

国・市の動向や学校の教育活動・取り組みを正しく理解していくことが課題解決の一步になる。可美中学校の子供のために考えてほしい。

19 アンケート記入

CS面接練習の感想

R7. 1. 23 (木)・24 (金) 実施

【生徒の感想】

- 最初の質問は緊張してうまく答えることができなかったが、面接が進んでいくにつれて緊張がほぐれてきて、うまく答えることができた。
- とても親切に話を聞いてくれて、とてもうれしかった。堂々と答えられるようしっかり練習したい。
- 最初は間違えたらどうしようという不安が大きかったけれど、話していくうちに不安が頑張ろうという気持ちの変わり、リラックスしながら話すことができた。今回の面接練習で、少し自信がついた。
- 日々の生活の「くせ」だったり「言い方」「発音」が面接に出てしまうのだなと実感した。そこからどう直すか考えていかなければならないんだと知った。
- 地域の方が面接練習をやってくださることで、いつもとはまた違った緊張感をもって行えた。緊張しすぎてしまったところも少しあったが、そこもまたよい練習となった。
- 質問に対してしどろもどろになってしまったけれど、面接官の方が一生懸命に答えようとしている姿でいいと言っていたいたので、本番でも不格好でも真剣に取り組みたい。
- 緊張して倒れそうになったけど、しっかり落ち着いて話すことが大事だと思った。そして、「何を聞かれているのか」をしっかり理解して話すことを気をつける。
- 地域の知らない方と練習をして、よい緊張感をもてたと思う。私立で面接はないけれど、公立まで残りわずかだから、このような練習を増やして完璧に近づけたい。
- 地域の方と面接をして交流もでき、対話はほぼアドリブだったが、話の軸がしっかりしていたおかげで最高の面接練習になったと思う。
- 予想せぬ質問もあったけれど、思うよりはアドリブでも話せてびっくりした。
- 学校の先生との面談の倍緊張した。少し言葉がつまったことがあったが、思ったより答えることができてよかった。
- 自分では気づかなかったが、手が動いてしまったと友達から聞いたので意識したい。
- 地域の方が「分からないときは素直に分からないと答えてもよい」と言ってくれたアドバイスを生かして、次の面接練習を頑張りたい。
- 入室、面接中の態度、退室の確認ができ、受け答えをしているときのアドバイスをもらえてよい機会になった。面接の評価で下を向いていると言われ、自分の気づかなかったところが直せると思った。
- 答えの内容だけでなく、行動や声についてもアドバイスをしていただき参考になりました。
- 緊張していないつもりだったけれど、緊張している行動をしていたと言われたので、客観的な意見を取り入れていきたい。
- 地域の方はとても優しく、私たちの話をうんうんとうなずきながら聞いてくださいました。そのおかげで緊張こそしましたが、安心して話すことができました。
- 本番になるとどうしても緊張してしまって思うことをうまく伝えられなかった。もう少し大きい声で話したい。「相手の目を見ながら話すのがよい」と言われたが、そうするの

- は難しいと思った。普段の生活から目や首のあたりを見てはなすことを心掛けたい。
- ・聞かれたことに対して、結論を先に発することを意識しようと思った。
 - ・地域の方と話すという機会はなかなかなく、とても緊張しました。面接官の方々からいただいたアドバイスをしっかりと受け止め、次に生かしていきたい。
 - ・自分の考えをしっかりと話せたと思う。姿勢をほめてくれたので、本番でも自信をもって堂々とした姿勢でいたい。どうしたら相手に自分のことが伝わるかを、特に注意して話したい。
 - ・面接練習の中で「笑ってもいいよ」という一言がとても衝撃的でした。「人の回答に笑ってしまうということは、それだけ周りの人の話をよく聞いているということ」ということを学びました。これは面接練習を経験しなかったら知れていなかったことなので、面接練習をやって本当によかったです。
 - ・「緊張して文を読んでいるみたいだから、もう少しリラックスして自然体でいいよ」と言われたので、それを気をつけるようにする。
 - ・普段と違う言葉使いなので、発言するたびに止まってしまう、「この言葉使いであっているのか」と思いスムーズに話ができなかった。挙手制の質問はもう少し話がまとまってから、落ち着いて堂々と話すようにする。
 - ・自分が用意していなかったことを聞かれたときは、自分の言葉で自分の経験と結び付けて自信をもって発言できるようにする。
 - ・地域の方からのアドバイスが的を射ていてこれからも頑張ろうと思えた。
 - ・答えた後に追加で質問がくることが多いので、その先も予想しておく。
 - ・一人一人とても細かく態度や言葉を評価し、さらに分かりやすくどう改善すればよいかアドバイスをくださった。緊張したけれど、しっかり反応してくれたので、緊張をほぐすことができた。
 - ・地域の方とは初対面なので自分のことを知らないと思うと、あまり緊張せずに行うことができました。面接官は答える内容だけでなく、表情や他の生徒の意見の聞き方、うなずきなども見ているため、話し方や聞き方を意識したい。
 - ・初めてしっかりと面接をしたことで、空気感や自分のできているところ、欠点など見えていなかったものが見えてきて、とてもためになる練習ができました。
 - ・面接は大人になってもあるので、今回の経験を生かしたい。
 - ・集団面接は個人と違って答えるのを待つことができたり、答えを考える時間があったりするが、意見がかぶってしまったり、他の生徒との違いがはっきり分かったりするところは、集団面接の難しいところだということを知った。
 - ・話すときに視線が少し動いてしまっているというアドバイスをいただいたので、本番までにしっかり直せるようにしたい。
 - ・相手の目を見ながら考えたことを冷静に話すのは難しいと感じた。本番では、知らない生徒たちと知らない先生に対して話すことになるので、イメージしておきたい。
 - ・緊張してしまい話す内容にまとまりがなかった。アドバイスを参考にもう少し大きな声で話すこと、表情を柔らかくすることを意識していきたい。実際の面接に近い雰囲気を感じることができ、本番はもう少しリラックスして臨むことができると思う。

【3年担当教員】

- 面接官の方々から温かいお言葉をいただき、自信になった生徒が多くいました。本番もこの調子で頑張ろうという意欲がもてたと思います。いただいたアドバイスをともに、次につながる支援を私たちも行っていきたいと思います。お忙しい中、3年生のために時間をとっていただき感謝しています。本当にありがとうございます。
- 生徒に感想を聞くと「緊張」というワードがよく出てきました。面接練習は、学年内・学校内で行っていますが、やはり緊張感が薄れてしまいます。地域の方との緊張感のある面接ができ、とてもよい機会になりました。
- 普段見慣れてしまって何も思わなかったが、髪型のことを言うただけでよかったです。週末カットしてきた生徒が多くいました。緊張感ある中での面接練習、この貴重な経験に感謝したい。
- 私立受験で面接がない生徒は初めての練習になってしまったことが、面接官の方々には申し訳なく感じたが、そこまで準備を進めておけば、大変よいきっかけになったと感じる。可美中として価値のある取組なので、ぜひ継続できるとよい。
- 生徒たちは普段から接している教員による練習でないことから、適度な緊張感をもって臨むことができました。緊張してしまうと普段より声が小さくなってしまいうことに気づけたと、多くの生徒が言っていました。公立受験までには、自信をもって自分自身のことを伝えられるよう、繰り返し指導していきたいと思います。

令和6年度 特別授業（企業代表による講演等）企業一覧

No.	企業名	業種	所在地	旧区
1	株式会社ティアー・高田	製造業	浜松市中央区西山町2468	西区
2	須山建設株式会社	総合建設業	浜松市中央区布橋2-6-1	中区
3	株式会社浜建	総合建設業	浜松市中央区和地町5181番地の1	中区
4	株式会社フード・ファレスト	飲食業	浜松市中央区入野町611-1	西区
5	国本工業株式会社	製造業	浜松市浜名区築地台6-3-1	浜北区
6	株式会社三共	廃棄物処理	浜松市中央区田尻町203-1	南区
7	株式会社蔵田組	建設業	浜松市中央区小池町673-3	東区
8	株式会社ジーク	建設業	浜松市浜名区尾野2767	浜北区
9	ハマニ株式会社	製造業（繊維業）	浜松市浜名区西中瀬3-13-5	浜北区
10	学校法人森島学園	教育	浜松市浜名区貴布祢232-3	浜北区
11	通利鉄道（株）	運輸・不動産・介護 他	浜松市中央区旭町12-1遠鉄百貨店新館12F	中区
12	常盤工業株式会社	総合建設業	浜松市中央区新津町197	中区
13	株式会社サソ・ラファエル	小売業	浜松市中央区半田山5-9-12	東区
14	株式会社長坂製菓場	小売業・焙煎業	浜松市浜名区三ヶ日町下尾奈97-1	北区
15	株式会社システック	IT・情報通信	浜松市浜名区新郷田1-9-9	北区
16	株式会社エコム	製造業	浜松市浜名区平口5277-1	浜北区
17	橋本エンジニアリング株式会社	製造業	浜松市浜名区平口5559	浜北区
18	神谷理研株式会社	製造業	浜松市中央区坂台1丁目8-1	西区
19	鈴木晴盛株式会社	製造業（繊維業）	浜松市中央区助信町43-11	中区
20	サコエエンジニアーズ株式会社	サービス業	浜松市中央区徳治町135	中区
21	中村建設株式会社	総合建設業	浜松市中央区中沢町71番23号	中区
22	協ヤタロー	製造業・小売業・その他サービス業	浜松市中央区丸塚町223-1	東区
23	株式会社ドリム	人材開発業	浜松市中央区若林町1080-1	南区
24	(株)ソニックマシナリー・ホールディングス	製造業	磐田市中央1丁目1-1	-
25	浜松倉庫株式会社	物流業	浜松市中央区中央三丁目8番35号	中区
26	ヘルツ電子株式会社	製造業	浜松市中央区東三方町422-1	北区
27	日本デジコム株式会社	情報サービス業	浜松市中央区常盤町2-4	中区
28	愛管株式会社	建設業	浜松市浜名区都田町8501番地の2	北区
29	株式会社錦三材木店	建築・木材小売業	浜松市浜名区平口5584-12	浜北区
30	浜松精機株式会社	機械・機械器具製造業	浜松市中央区中田町660-1	東区
31	株式会社ジャパン・ミヤキ	製造業	浜松市中央区豊町3226-1	東区
32	ソフトブレン工業株式会社	製造業	浜松市中央区馬郡町3762-22	西区
33	株式会社 知久	食品製造小売り	浜松市中央区坂台1-2-1	西区
34	天竜浜名湖鉄道（株）	鉄道輸送業	浜松市天竜区二俣町阿波114-2	天竜区
35	株式会社ヨシケイ浜松	小売	浜松市中央区鶴見町400	南区
36	株式会社IMAEDA	不動産・飲食業他	浜松市中央区上新屋町1番地	東区
37	三立製菓株式会社	菓子製造業	浜松市中央区中央1-13-11	中区
38	スズキ株式会社	輸送用機械器具製造業	浜松市中央区高塚町300	南区

資料3

令和6年度 浜松市立可美中学校 学校評価報告書

1 自己評価（別紙アンケート結果参照）

【別紙のアンケート：色付きの部分が可美中学校グランドデザインで数値目標として挙げている項目】

令和6年度の学校評価アンケート結果は、令和5年度のアンケート結果と比較しても全体の傾向は大きく変わっていなかった。以下は各アンケート項目について抜粋し評価したものである。

指導と評価の一体化を目指し、どの授業でも、授業の最初に必ずその時間のめあてを示し、生徒たちにその時間のゴールを認識させてから授業に取り組んだ。めあてを提示することで、1時間の授業で何ができるようなればよいのか明確になり、自分の中で目標を立てて取り組むことが昨年度の数値から比較しても習慣化されている。また、授業の最後に『振り返りシート』などで、学習を振り返る時間を設けることによって、「できた」「わかった」と実感することができたと考えられる。しかし、定着度調査や学力診断調査の結果からは、学習の定着が二極化していることが確認できる。全国学調では、「知識・理解」のポイントは平均をやや下回り、「思考・判断・表現」の観点では平均を上回った。各教科で基礎・基本の定着を図ることにより学力を伸ばしていくことができるのではないかと考えている。生徒は課題を提出日に出すという意識は高いが、主体的に学ぶことはできていない。生徒が取り組む価値があると考ええる課題を用意していきたい。

文化発表会（合唱コンクール）、体育大会の可美中二大行事だけでなく、修学旅行や野外活動など各学年の行事でも一人一人が満足する成功を収めることができた。発達支援学級に所属し、昨年度の行事に参加できなかった生徒が、どのような形で行事に参加するか目標を決めて臨み、本番では目標以上の結果を出すことができたことは印象的であった。またどの学級でも努力している姿を級友が見ていてそれを認めてくれる様子が分かる掲示物を作り、教室背面に掲示をして見えるようにしている。そのことによって、生徒は達成感や自己有用感を感じ、認め評価されることが自信につながっていると思われる。

キャリアパスポートの一環として、普段の生活や行事などの目標を立て、その達成に向けて頑張り、その頑張りを振り返ることを繰り返すとともに、三者面談を活用して、保護者とも頑張りを共有した。その結果、「夢や目標に向かって自分なりに努力することができた」と思えた生徒が増加したと考えられる。

地域行事やボランティア活動は、コロナ禍は明けたが参加者が思ったほど増えなかった。地域の方からのアンケートの中に、「中学生になると参加が少なくなっている」といった記述があった。可美地区のふれあいサマーボランティアや可美マラソンなどには

多くの参加者があった。このことから、参加者が固定化されていたり、部活動や塾などの習い事によって、休日の使い方が変化したりしたのではないかと分析している。

教員のICT活用は、校内研修で何度か機会を設け、活用方法を共有した。実際に活用している、あるいは活用しようとしている教員は少しずつ増えているが、アンケートでは、「新しい授業・教育活動を実践した」となっているため、以前からよく活用している教員の自己評価が低かった。そのため、全体の数値が低くなっているが、日常的に活用する場合は増えている。

今年度から学校評価に取り入れた、「時と場を考えた服装を意識して生活できた」は肯定的なものが97%となり高評価であった。今年度は、学校生活の体操服の着こなし方や防寒着の着用について生徒自身に考えさせる場面を多く作った。そのことによって生徒が主体的に服装を考えるきっかけになったと考えられる。このことから生徒の自主性を尊重し倫理観を育て、時と場に応じて判断する力を身に付けさせたい。

なお、今年度のいじめ対応への取り組みは次の通りである。今年度タブレットを使用した『はままついじめアンケート』を3回実施した。1回目のいじめ認知12件、2回目22件、3回目3件、その他随時生徒や保護者からの訴えに対応したいじめ24件の軽61件をいじめとして認知し対応した。ICT機器の活用によって情報の集約を迅速に行うことができた。その結果から「浜松市のいじめ防止基本方針」や本校の「いじめ防止基本方針」に則って対応することができ、記述をした生徒一人一人の訴えに迅速かつ丁寧に寄り添うことができた。引き続き、本校生徒がいじめで苦しんだり辛い思いをしたりすることがないように生徒の心情に寄り添うこと、迅速かつ丁寧に対応することに努めたい。

生徒の「学校生活は楽しかった」95.8%の肯定的な意見や「保護者の本校の教育活動や教職員を評価できる」92.8%の肯定的な意見に、可美中教職員は大きな達成感を得ることができ、生徒や保護者に対する感謝の念も湧いた。同時に今後の可美中学校の取組をさらに磨き上げ、社会の変化が激しく将来を予測することの難しい「VUCAの時代」をしなやかにたくましく生き抜いていける生徒を育てていきたい。

<令和6年度 浜松市立可美中学校 グランドデザイン>+R6 アンケート結果等



【可美中の校訓】
○ 心

【可美中学校区の目指す子供の姿】
○ 心の美しい子

【はままつの目指す子供の姿】

- 夢と希望を持ち続ける子供
- これからの社会を生き抜くための資質や能力を育む子供
- 自分らしさを大切にする子供

(第3次浜松市教育総合計画より)

【学校教育目標】互いの成長を認め合い 切磋琢磨する生徒の育成

めざす学舎の姿

- ・明るいあいさつに満ちた学舎
- ・「やる気」「本気」「根気」を育む学舎
- ・生徒・保護者・地域から信頼される『安全・安心』な学舎

めざす生徒の姿

- ・何事にも主体的に取り組む生徒
- ・仲間を大切にし、支え合う生徒
- ・多様性(ダイバシティ)を受け入れることのできる生徒

めざす教職員の姿

- ・情を持って接し 思いを持って導く教職員(「情接思導」)
- ・生徒と共に学び続ける教職員
- ・生徒に前を向かせる、生徒の心に火をつける教職員

※「学舎(まなびや)とは、仲間がいて、何度でも挑戦ができて、新しい自分を発見できる学校」

可美中シンゲン

- ① 「できた」「わかった」という実感の持てる授業づくり(「確かな学び」)
- ② 問いを生徒自身が持ち、「ひと・もの・こと」とかかわる授業づくり(「主体的・対話的で深い学び」)
- ③ 「感動ある行事」「資質や能力を高める活動」「夢中になる部活動」で豊かな心の育成
- ④ 夢や希望を持ち続け、自ら歩み出す力(かかわる力・みつめる力・えらびだす力・みいだす力)の育成
- ⑤ 「地域とともにある学校づくり」をめざして、CS(コミスク)の推進と家庭・地域・小学校と連携
- ⑥ 「働き方改革」につながる教育課程の工夫や職場の雰囲気づくり

＜ 重点目標 ・ 具体的施策 ◇ 数値目標 ＞

「確かな学び」「深い学び」を育むプロジェクト

重点目標 「できた」「わかった」と実感でき、他との関わりの中で学びを深める授業づくり

- ・生徒や教師が学びを確かめるための「振り返り」の充実
- ・生徒同士が関わり合う場面の積極的な設定
- ・教員相互の授業公開を活用した指導法研究の推進
- ・GIGAスクール構想に対応したICT活用研修の実施
- ◇「目標をたてて取り組む」90%
- ◇「『できた』『わかった』実感」90%
- ◇「主体的・対話的で深い学び」の授業実践」教員80%
- ◇「ICTを活用した新しい授業・教育活動を実践した」教員90%

91.3%

92.6%

76.5%

68%

「豊かな心」を育むプロジェクト

重点目標 「自分を大切にすること」「仲間を思いやる心」を育む活動の充実

- ・互いの良さや成長を認め合う活動の充実
- ・縦割り集団を生かした行事企画の推進
- ・道徳教育を柱として、学校・学年全体が連携した取り組みの充実
- ・仲間とともに夢や目標に向かって努力する心を育む部活動の推進
- ◇「学校生活は楽しかった」90%
- ◇「可美中学生に誇り」90%
- ◇「行事に充実感・感動」90%
- ◇「自分や友達のため」90%
- ◇「部活動で成長実感」90%
- ◇「行事で生徒成長」CS委員90%

95.8%

95.3%

94.2%

91.3%

94.2%

100%

キャリア教育推進プロジェクト

重点目標 自己決定・自己実現を支える「夢・職業観」を育む活動の充実

- ・「か・み・え・み」(可美笑み)力を育む授業・行事等で推進
- ・キャリア教育全体計画・年間指導計画の継続的な見直し
- ・キャリア・パスポートの意図的な活用(日常的教育活動との関連)
- ・キャリア教育への関心を高めるための研修や広報活動の充実
- ◇「夢や目標に向かって自分なりに努力することができた」80%
- ◇「『か・み・え・み』を意識した授業や活動を実践」教員80%

85.9%

58.8%

「地域とともにある学校づくり」プロジェクト

重点目標 地域との関わりをよりよいものにするためのCS活動・広報活動の充実

- ・ブログ更新の日常化と保護者や小学生に向けて広報活動の充実
- ・「コミュニティ・スクール」として、地域と連携した教育活動の推進
- ・地域行事やボランティア活動の積極的な参加と実績の見える化
- ◇「地域行事やボランティア活動に積極的に参加」80%
- ◇「学校の教育活動や教職員の取組を信頼」保護者80%
- ◇「学校だより・ブログ等で情報をよく発信している」CS委員80%

55.1%

100%

92.8%

公表・発信

- ・ 学校運営協議会(CS)評価
- ・ 生徒・保護者アンケート
- ・ 教員アンケート
- ・ プロジェクト別反省と提言等

受信・評価

R6学校評価アンケート集計結果 (%) そう思う・ややそう思う を合わせた割合

	質 問	生徒		保護者		教員	
		R5		R5		R5	
1	可美中生であることに誇りを持っている。	89.1	92.1	79.9	85.2	94.1	87
2	学校生活は楽しかった。	95.8	98	88.7	92.1	100.0	100
3	学習や運動などに目標を立てて取り組むことができた。	91.3	90.3	71.3	82.6	88.2	100
4	授業で「できた」「分かった」という実感がもてた。	92.6	92.1	63.1	76.3	100.0	91.3
5	行事に真剣に取り組み、充実感を味わったり、感動したりすることができた。	94.2	95.7	91.8	92.4	100.0	100
6	授業や行事などで、自分や友達のよさを見つけることができた。	94.2	96.2	90.4	92.1	100.0	95.7
7	夢や目標に向かって自分なりに努力することができた。	85.9	80.2	73.0	77.9	88.2	91.3
8	時と場を考えた服装を意識して生活できた。	97.1		90.1		82.4	
9	家族、友達、先生、地域の方へあいさつができた。	92.9	93.8	91.1	90.2	52.9	56.5
10	何かを人にしてもらった時、すぐに「ありがとう」が言える。	97.8	98.3	94.9	94	82.4	87
11	悩みができたときに相談できる人が1人以上いる。	90.1	87.5	89.1	86.1	100.0	95.7
12	部活動を通して自分の成長を実感できた。※部活動に所属していない場合は校外活動（クラブ・習い事・趣味等）に置き換える。	91.3	93.9	87.7	93.1	88.2	87
13	朝食は必ず毎日食べてから登校した。	90.7	90.4	91.1	93.1		
14	通信機器を、情報モラルや家庭で決めたルールを守って使用することができた。	91.7	87.6	74.7	60.3	64.7	60.9
15	地域の祭典や防災訓練、ボランティア活動などに、意欲的に参加した。	55.1	58.1	53.6	59	76.5	78.3
16	読書をするのが好きだ。 ※生徒のみ回答	60.6	67.1				
17	課題を提出日に間に合うように取り組むことができた。 ※生徒のみ回答	86.5	79.8				
18	学校の教育活動や教職員の取組を信頼できる。 ※保護者のみ回答			92.8	89.9		
19	あなたは主体的・対話的で深い学びを育む授業を実践できた。 ※教職員のみ回答					76.5	82.6
20	あなたはICTを活用した新しい授業・教育活動を実践できた。 ※教職員のみ回答					68	
21	あなたは「かみえみ」を意識した授業や活動実践できた。 ※教職員のみ回答					58.8	65.2

新

R6学校運営協議会委員用学校アンケート 結果

左側は昨年度、右側は今年度の%を示している。空白は今年度も前年度も0である。

		そう 思う	だいたいそう 思う	あまり そう思わない	そう思わな い	答えられな い
1	教職員や地域の大人は、子どもの成長をほめることを意識している。	60.0→33.4	40.0→66.6			
2	教職員や地域の大人は「命の大切さ」や「きまりを守ることの大切さ」を教えている。	60.0→33.4	40.0→66.6			
3	体育大会や文化発表会などの学校行事は盛り上がり、子どもたちの成長につながった。	100→100				
4	子どもたちは、元気な明るい声であいさつをし、活気にあふれている。	40.0→16.7	60.0→83.3			
5	部活動は、練習内容や計画に無理がなく充実している。	30.0→16.7	50.0→66.6			20.0→16.7
6	学校は、たより等で情報をよく発信している。	70.0→66.6	30.0→33.4			
7	子どもたちは、地域の行事に積極的に参加している。	20.0→0.0	80.0→83.4	0→16.6		
8	学校は、子どもたちの安全確保や健康管理に気を配っている。	90.0→50.0	10.0→50.0			
9	教職員は、保護者や地域の方・来客に節度ある態度で接し、連携を大切にしている。	80.0→83.4	20.0→16.6			
〇日頃の子どもたちの様子を見てお気付きの点や学校に関わることで気になる点についてご意見をください。						
◇可美中学生は、いつも明るく元気な挨拶してくれる。これは生徒たちの心が、とても穏やかだからだと感じている。 ◇学校公開日や体育大会等の行事には保護者や地域の方々がたくさん可美中を訪れ、学校や生徒たちに関心を強く抱いている。 ◇今年度実現できた家庭科支援活動を今後も継続し学校の課題をさらに解決できて行きたい。 ◇体育大会では、部活動ごとのリレーがあり、盛り上がりがあったと聞いた。このような取り組みを行い学校生活が楽しいものとなることを期待している。 ◇中学生になると、祭典や防災訓練、ふれあい交流会など地域の人との関わりが減ってしまう。参加する子は一部だけなのでもう少し増えたらいいいと思う。可美マラソンの中学生の参加は多い。						



校訓

心

■中学校区の
目指すこどもの姿

『心の美しい子』

◇学校教育目標◇

志をもち、自他を価値ある存在として
尊重し、切磋琢磨する生徒の育成

◇目指す生徒の姿◇

- 何事にも主体的に取り組む生徒(自信)
- 多様性を受け入れ、仲間を大切にし、支え合う生徒(思いやり)
- 自己調整しながら、粘り強く取り組む生徒(たくましさ)

第4次浜松市教育総合計画

描く夢や未来の実現

- 主体性
- 多様性・包摂性
- 信頼・協働

はまつの目指すこどもの姿

- 自分らしさを大切にすることも
- 他者と協働し、主体的に行動できるこども
- 自己調整しながら、粘り強く取り組むこども

か かわる力

◆自他のよさや違いを尊重する◆

- 自分の考えを堂々と言ったり、行動したりする。
- 相手の考えや思いを真剣に聴こうとする。
- よさや違いを認め、協力しようとする。

対話の重視

生徒の姿で語る

・認め合う場
・支え合う活動
・生徒の言葉

を大切にする

み つめる力

◆自己を理解する◆

- 自分のよさや適性を知ろうと努め、「できる」ことを増やそうと努力する。
- 前向きな考えをもち、結果を気にせず行動してみる。
- 易きに流れず、苦手なことや困難なことにも挑戦しようとする。

え らびだす力

◆将来を考える◆

- 「今」の学びが将来につなげることを理解する。
- 自分が目標としたい人やことを自ら求める。
- 「今」の自分を基に、将来のよりよい自分の姿を描く。

み いだす力

◆課題に対応する◆

- 自分の課題を見出し、解決するために具体的な計画を立てる。
- 自分の言動の結果を考えてよりよい選択をする。
- 情報を適切に選択・活用し、自分なりに考えて行動しようとする。



地域・家庭とともにある学校
(可美中学校運営協議会)



互いの個性を尊重し合い、
だれもが安心できる居心地のよい学舎



ふるさと可美を愛し、
未来を主体的に創造する生徒を育てる学舎



・キャリア教育の理念を生かした教育活動の推進

・発達支援教育の理念を根幹に据えた、一人一人を大切にした教育活動の充実

こどもの自分らしさを受け止める
教職員

愛情と情熱、規範意識を持ち続ける
教職員【情接思導】

生徒とともに学び続け、
専門性と指導力を磨き続ける
教職員

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(可美中)学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- ・「ひらかれた学校」づくりのために、地域と学校、保護者、生徒が関わり合うことのできる機会を増やしていく取組を行う。
- ・現場のニーズを把握し、実現可能な教育支援が実施できるように調整し、不可能だと思われるものの形や方法を変え、できる範囲で実現できるよう熟議を重ねていく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・初回の協議会で校長から学校の教育目標やビジョン、具体的な目標と施策の説明があり、地域や保護者も学校と協働して学校教育に関わる必要性を理解し、活発な熟議を行うことができた。
- ・目標に向け、地域と学校が生徒のために連携しながら活動できた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・学校から家庭に地域ボランティアの呼び掛けをし、家庭科の学習支援を実践できたことに地域のパワーを感じた。また、実現はできなかったが、技術科(木工)の指導ができないか、地域の企業に依頼できた。
- ・職場体験受け入れ先等について、(コーディネーターとして)生徒や保護者、学校の要望等に沿えるよう、熟議がしっかりできた。
- ・学習支援状況では、学校が各教科においてさまざまな支援を必要としていることが分かった。本年度は家庭科授業サポートが開始できた。地域ボランティアの方々の学習補助は学校支援活動の大きな成果である。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・協議会の内容を地区民児協にて情報発信し、協力することができた。(見守り・相談等)
- ・活動内容を年に1～2回書面でお知らせしても良いと感じた。(HPでは議事録が公開されているが閲覧してくれているか)
- ・ブログを通しての発信のみ。発信手段の検討が必要と感じる。
- ・1年目より活動内容を理解でき、スポット的に活動できた。学校からの情報発信はよくされている。
- ・PTA執行部間で共有した。保護者には協議結果をどこまで伝えて良いのか分からず、あまり発信出来なかった。
- ・可美協働センター施設(生涯学習)ボランティアをしているため、講演会講師や授業支援者等の情報はセンター所長や浜松市創造文化都市課職員から聞いていたが、今年度は運営協議会で発信する機会がなかった。学習支援者等の情報は発信できた。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

○今年度と継続目標

- ・「ひらかれた学校」づくりのために、地域と学校、保護者、生徒が関わり合うことのできる機会を増やしていく取組を行う。
- ・現場のニーズを把握し、実現可能な教育支援が実施できるように調整し、不可能だと思われるものの形や方法を変え、できる範囲で実現できるよう熟議を重ねていく。

夢育やらまいか事業 CS 加算分について

学校運営協議会を設置した学校には、学校運営協議会が議決した活動等を実施するための資金として、夢育やらまいか事業に、一定額を加算して配当されています。

- ① 本年度の CS 加算金額
1 学校運営協議会あたり 60,000 円

- ② 本年度の CS 加算分の使途

項目	金額
やらまいか講演会講師謝礼 鈴木 敏弘 氏	80,990 円 【内訳】 ・ 講師謝礼 80,000 円 (内、源泉徴収 8,168 円) ・ 振込手数料 990 円
CS 面接練習講師謝礼用お菓子 ※ 2 月 20、21 日の公立高校面接練習時に追加 で支払う場合があります。	15,000 円 【内訳】 1,500 円 × 10 人

総支出 95,990 円支出 (2 月 6 日現在)

令和6年12月26日

令和6年度第3回学校支援コーディネーター研修会報告書

可美中学校支援コーディネーター：岡本真理

○日時 令和6年12月11日（水）13:30～16:00

<15:55に終了>

○会場 浜松市教育会館

○内容 (1) 講話「これからの教育 ～対話と共有～」

講師 特定非営利活動法人 スクール・アドバイス・ネットワーク

理事長 生重 幸恵 氏

(2) グループ協議：テーマ「学校支援活動を改善するためには」

（学校支援コーディネーターの取組についての事例研究）

○感想 (1) 「日本社会の問題点」を様々（○少子高齢化の進展○社会格差の増大、固定化○地域社会、家族の変容○産業構造・雇用の変化○グローバル化の進展）提起していただいた。

改めて、浜松市の「コミュニティ・スクール」を確認し、“連携・協働”等について、考える機会を与えていただいた。

可美中学校支援コーディネーターとして、今後も学校運営協議会で出された課題の実現に向け、積極的に活動していきたいと思った。

(2) 中学校コーディネーター4人（与進・三方原・湖東・可美）がテーマに沿って協議した。同時に各学校の取組を知ることができ、良かった。

自己紹介の時、三方原中コーディネーターから講演会講師を紹介していただき、コーディネーター同士の連携ができ良かった。

「事例研究（防災）」では、コーディネーターとして何を実施したらよいか協働で取り組んだ。「防災コーディネーター」「防災士」等の言葉が飛び交いコミュニケーションがとれ良かった。

※主に中学校での取組について情報交換ができ、共通する点があると感じた。今後も連携して、各「コミュニティ・スクール」の活動ができれば良いと思った。＜自己紹介の「サンタさんからいただきたいもの」は、腕時計・時間・健康・生命等で大変盛り上がった＞。

資料 8